

授業評価アンケートからみた駿大社会人基礎力の傾向 —教授・学習の質向上と学習成果の可視化へ向けて—

梅村 慶嗣・八木 真奈美・内田 いづみ

I はじめに

近年、わが国の大学教育改革において、質保証（quality assurance）の観点から、学修成果（learning outcomes）に軸足を置いた教授・学習の質向上が重要課題として挙げられている。その背景には、急激な社会構造の変化や、高等教育のユニバーサル化に伴う学生の質の変化等に、大学教育が積極的に対応し、その責任を果たすべきであるという社会的要請が存在する。

これまで日本の大学教育は、教養や基礎学力を身につけたり、専門知識を学んだりといったいわゆる学術的な知識の習得に重きが置かれていた。しかし、その結果、大学卒業時に身につけている能力と就職時に企業が求める能力や現実社会を生き抜く力との間には、乖離が生じていたと言わざるをえない。このような乖離を克服するべく、2005年、経済産業省において「社会人基礎力に関する研究会」が発足し、「職場や社会の中で多様な人々と共に仕事をしていくために必要な基礎的な力として『社会人基礎力』の概念が発表された（経済産業省、2010）」。経済産業省によれば、社会人基礎力は、「職場や地域で活躍する上で必要となる力」であるが、その基礎には、一人の人間として社会生活を送るための公共心や倫理観、基本的なマナー、一般常識・教養などの「人間性、基本的な生活習慣」が基盤としてあり、社会人基礎力は、そのような人間性と基礎学力、専門知識をつなぎ、「職場や地域で活躍する上で必要となる力」を循環的に向上させるものとなる。

本学においても、グローバル化の著しい現代における地域社会の諸活動の中で中核的役割を担う幅広い人材を育成するために、5能力分野・16能力要素からなる「駿大社会人基礎力」を2012年に独自にまとめ、専門的知識・技能の活用力とあわせてその修得に力を入れている。さらに2013年には駿大社会人基礎力の測定ツールとなるセルフチェック票であるルーブリックを開発した。このルーブリックを活用した駿大社会人基礎力の測定は主にキャリア科目群において年次ごとの全数調査が実施されているものの、その他としては、シラバスや授業評価アンケート等の項目として利用されるにとどまっており、授業改善に活かすなど大学全体として駿大社会人基礎力の活用が十分になされているとは言い難い。

大学教育と社会人基礎力との関連についての先行研究を概観すると、社会人基礎力を高める授業の実践研究（藤井・平尾、2011）やインターンシップ授業が社会人基礎力に及ぼす影響についての研究（e.g., 中川、2015）など、「特定のプログラムと社会人基礎力との関係」を検討したものや、回想法によって大学の学びと社会人基礎力との関連性を検討した研究（清水・三保、2013）など、「大学教育の全体的な視点からの社会人基礎力の分析」を試みているものなどに大別できる。また、学生による授業評価と授業改善に関する実践報告は多数にのぼるものの、社会人基礎力そのものに着目した授業評価と授業改善についての研究は見当たらない。

そこで、本研究では、駿大社会人基礎力を主たるテーマとして取り上げ、授業評価アンケートからみた基礎力の傾向、すなわち学生が自ら身についたと感じられる駿大社会人基礎力と、教員の意図した基礎力との関係について、さらには授業手法と基礎力育成との関係について分析・報告をするものである。

これらが明らかになることで、本学における「教授・学習の質向上」と「学修成果の可視化」がさらに進展し、高まりつつある大学教育の成果に対する社会的な要請に応えていくことが期待される。

II 調査

1. 駿大社会人基礎力の概要

駿大社会人基礎力は、本学の学生が社会に出るまでに身につけるべき基礎的・汎用的能力を示したものである。具体的には「基礎的な力（1.読解力, 2.文章力, 3.情報収集力）」、「考える力（4.論理的・多面的思考力, 5.情報処理能力, 6.理解力, 7.創造的発想力）」、「行動に移す力（8.主体性, 9.行動力・実行力）」、「協働する力（10.常識力, 11.プレゼンテーション能力・表現力, 12.コミュニケーション能力, 13.協調性）」、「総合的な力（14.課題発見能力, 15.計画力, 16.問題解決能力）」の5能力分野・16能力要素からなっている。各能力要素の定義は表1の通りである。これらの基礎力は「すべての科目がキャリア教育である」という考えのもと、全科目のシラバスにおいて目標として明示され、その育成が各授業で図られている。

2. 授業アンケートの概要

授業アンケートは、履修者である学生が授業評価を行うことによって、教員が自己の授業改善に取り組み、ひいては大学全体の教育改善を図っていくために実施されるものである。アンケートの内容は主に、担当教員に関する項目（授業技術や熱意等）・学生自身に関する項目（自己の取り組み具合や身についた知識技能等）・授業に関する項目（受講満足度等）などからなっており、これらは5段階で評価される。さらに学生自身が身についたと感じる駿大社会人基礎力について能力分野別（基礎的な力・考える力・行動に移す力・協働する力・総合的な力）に複数回答可という形で回答される。アンケートは学期の終盤にさしかかった授業回に講義科目（講義科目・外国語科目・教職科目）、実習科目（基礎情報科目・実習科目・体育科目）、演習科目（1年次、2年次、3・4年次演習）の全科目にわたって無記名・個人記入形式のマークシート用紙が配布され、一斉に実施・回収される。

表 1 駿大社会人基礎力／5つの能力分野と16の能力要素

1.基礎的な力			2.考える力				3.行動に移す力	
①読解力	②文章力	③情報収集力	④論理的・多面的思考力	⑤情報処理能力	⑥理解力	⑦創造的発想力	⑧主体性	⑨行動力・実行力
文章を適切に読み解く力	論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる力。レポート、論文、発表の資料などわかり易くまとめることができる	目的(達成)に向けて情報源と情報収集方法を適切に選択し、必要な情報を集める力	様々な角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考えることができる力	入手した情報から必要なものを適切に選びとり、またそれを自分が使ええる材料として処理する力	相手の話す内容または自分や相手の置かれている状況を適切に理解する力	既存の枠組みにとらわれず、柔軟に考え、新たなアイデアを生み出す力	行動を起こすことの価値を理解した上でやらされるのではなく自ら行動を起こす力	目標に向かって粘り強く取り組み、必要に応じて課題に柔軟に対応しながら、やりきる力
4.協働する力			5.総合的な力					
⑩常識力	⑪プレゼンテーション能力・表現力	⑫コミュニケーション能力	⑬協調性	⑭課題発見能力	⑮計画力	⑯問題解決能力		
公序良俗・社会生活上のマナーやルールに則って自らの発言や行動を律することができる力	自分が相手に伝えたい内容をわかりやすく表現し、伝える力	相手の要求を適切に理解したり、自らの意見を適切に主張したりすることによって、良好な人間関係を構築する力	自分や周囲の役割を理解し適切に分担する力、互いに運搬・協力して物事を行う力	自分や自分の身のまわり、あるいは社会のあるべき姿と現状を適切に認識し、問題意識を持つことができる	実現可能な目標を設定し、そこに至る方策を立てることができる力	逐次状況を把握し、問題解決に向けて努力を継続する力		

3. 授業改善計画書の概要

授業改善計画書は、学生による授業アンケートの結果を受け、各教員が授業を振り返り、次年度の授業をさらに良いものとしていくために毎年作成されるものである。具体的には、自分が担当した「講義」「演習」「実習」科目の内、特徴的な各1科目について、当該年度に取り組んだ授業改善の手法を選択肢(表2)から選ぶ(複数回答可)とともに、今後新たに組みたい授業手法や、教員が担当授業で意図した駿大社会人基礎力と学生のアンケート結果との差異について振り返るといった内容になっている。

表2 授業手法

①レジュメを毎回配布している	⑧学生による発表を採り入れている
②リアクションアンケートを実施している	⑨グループワークを採り入れている
③リアクションアンケートの内容についてフィードバックしている	⑩学生同士のディスカッションを採り入れている
④授業に映像資料を用いている	⑪小テスト、中間テストや中間レポートを採り入れている
⑤授業にOHCやPPTを用いている	⑫単元(種目)毎にレポートを採り入れている
⑥クリッカーを導入している	⑬実技・技能テストを採り入れている
⑦普段の授業運営にICTを活用している	⑭その他(自由記述)

4. 調査

学生が自ら身についたと感じられる駿大社会人基礎力が教員の意図した基礎力とどの程度の相違があるのか、さらには授業手法によって基礎力の修得に相違が生じるのかについて分析するために、2015年度における(a)授業アンケートによる「この授業で身についたと感じる基礎力」データ (b)シラバスにおける「到達目標として定めた基礎力」データ (c)授業改善計画書における「授業改善の手法」データをそれぞれ調査の対象とした。このうち、(a)(b)は1,438科目を、(c)は207科目を調査の対象としており、いずれのデータも授業単位で集計されているものである。またデータの集計上、(a)の基礎力は「能力分野」単位で、(b)の基礎力は「能力要素」単位となっている。

Ⅲ 結果と考察

(1) 授業アンケートデータの分析結果(表3)

2015年度授業アンケートの分析対象となったものは全部で1,597科目、延べ回答者数は40,587名である。講義科目が696科目と最も多く、教職科目が最も少ない60科目となっている。学生が身についたと感じる基礎力(能力分野)について全体的な傾向を見てみると、最も多い割合を示したものが「基礎的な力」で36.1%、次いで「考える力」が31.5%、以下「総合的な力」が11.9%と続き、ほぼ同じ割合で低かったものが「協働する力」10.5%と「行動する力」10.1%となった。次に科目種類ごとに5つの能

力分野別の特徴をみると、「基礎的な力」が身についたと感じる科目で最も多い割合を示したものは外国語科目で46.5%、最低が体育科目で19.1%となった。「考える力」は最も低い割合を示した体育科目の17.1%を除き、全科目がほとんど25%～35%前後の範囲に収まった。逆に「行動する力」は体育科目が31.0%と最も高く、講義科目・外国語科目・教職科目がいずれも8%前後と低い割合を示した。「協働する力」は、体育科目と1年次演習が約20%と高く、講義科目と外国語科目がいずれも8%前後と低くなった。最後に「総合的な力」はいずれの科目も9%～14%前後の範囲に収まっているものの、その中でも高い割合を示したものが基礎情報科目・実習科目・教職科目で14%前後、最も低い科目が外国語科目の8.7%となった。

表3 授業アンケート分析結果

科目種類	科目数	回答人数	1.基礎的な力	2.考える力	3.行動する力	4.協働する力	5.総合的な力	1～5 合計
			回答数(割合)	回答数(割合)	回答数(割合)	回答数(割合)	回答数(割合)	回答数(割合)
(1)講義科目	696	28,011	11,819 (36.9%)	10,591 (33.1%)	2,883 (9.0%)	2,878 (9.0%)	3,817 (11.9%)	31,988 (100.0%)
(2)外国語科目	234	3,726	2,140 (46.5%)	1,323 (28.7%)	366 (8.0%)	373 (8.1%)	400 (8.7%)	4,602 (100.0%)
(3)基礎情報科目	79	1,383	648 (37.0%)	510 (29.1%)	173 (9.9%)	183 (10.5%)	237 (13.5%)	1,751 (100.0%)
(4)実習科目	82	1,264	427 (25.1%)	553 (32.5%)	216 (12.7%)	250 (14.7%)	254 (14.9%)	1,700 (100.0%)
(5)体育科目	65	1,218	272 (19.1%)	243 (17.1%)	441 (31.0%)	299 (21.0%)	169 (11.9%)	1,424 (100.0%)
(6)教職科目	60	1,279	551 (33.0%)	557 (33.3%)	144 (8.6%)	177 (10.6%)	243 (14.5%)	1,672 (100.0%)
(7)1年次演習	87	896	520 (32.3%)	397 (24.7%)	204 (12.7%)	326 (20.3%)	162 (10.1%)	1,609 (100.0%)
(8)2年次演習	84	875	384 (32.5%)	335 (28.4%)	136 (11.5%)	172 (14.6%)	154 (13.0%)	1,181 (100.0%)
(9)3・4年次演習	210	1,935	784 (28.7%)	818 (30.0%)	339 (12.4%)	442 (16.2%)	344 (12.6%)	2,727 (100.0%)
(1)～(9)合計	1,597	40,587	17,545 (36.1%)	15,327 (31.5%)	4,902 (10.1%)	5,100 (10.5%)	5,780 (11.9%)	48,654 (100.0%)

(2) シラバスデータの分析結果 (表4-1, -2)

2015年度シラバスのうち分析対象となったものは全部で1,597科目である。教員がその科目において育成を意図した能力分野について全体的な傾向を見てみると、最も多い割合を示したものが「考える力」で32.3%、次いで「基礎的な力」が22.6%、以下「協働する力」が20.8%、「総合的な力」が15.8%と続き、最も低かったのが「行動する力」で8.5%となった。次に科目種類ごとに5つの能力分野別の特徴をみると、「基礎的な力」の育成を最も多く意図する科目は外国語科目で46.4%、最低が体育科目で0.7%となった。「考える力」は講義科目と実習科目が45%前後と最も高い割合を示し、体育科目は10.8%と最も低くなった。逆に「行動する力」は体育科目が32.4%と最も高く、外国語科目・教職科目がいずれも3%前後と低い割合を示した。「協働する力」は基礎情報科目と体育科目が34%前後と高く、実習科目が14.8%、講義科目が13.1%とそれぞれ低い割合を示した。最後に「総合的な力」は教職科目が28.6%と最も高く、次いで20%前後の割合で体育科目、3・4年次演習、講義科目が続き、以下、基礎情報科目が6.9%、最も低い科目が外国語科目の1.5%となった。

表 4-1 シラバスデータ分析①

科目種類	科目数	1.基礎的な力			①～③計 (割合)	2.考える力				④～⑦計 (割合)	3.行動する力		⑧～⑨計 (割合)
		①読解力	②文章力	③情報収集力		④論理的・多面的思考力	⑤情報処理能力	⑥理解力	⑦創造的発想力		⑧主体性	⑨行動力・実行力	
(1)講義科目	696	151	80	163	394 (16.9%)	428	143	349	111	1,031 (44.1%)	81	66	147 (6.3%)
(2)外国語科目	234	202	167	146	515 (46.4%)	126	9	167	3	305 (27.5%)	17	16	33 (3.0%)
(3)基礎情報科目	79	1	1	43	45 (13.0%)	9	65	10	0	84 (24.3%)	39	38	77 (22.3%)
(4)実習科目	82	7	5	32	44 (14.8%)	36	44	19	31	130 (43.8%)	17	12	29 (9.8%)
(5)体育科目	65	1	0	1	2 (0.7%)	10	2	13	5	30 (10.8%)	35	55	90 (32.4%)
(6)教職科目	60	16	7	21	44 (20.3%)	32	6	18	6	62 (28.6%)	3	4	7 (3.2%)
(7)1年次演習	87	55	55	49	159 (27.6%)	44	12	38	12	106 (18.4%)	44	22	66 (11.4%)
(8)2年次演習	84	32	25	33	90 (24.7%)	31	21	35	14	101 (27.7%)	15	8	23 (6.3%)
(9)3・4年次演習	210	56	42	82	180 (18.1%)	100	49	60	49	258 (26.0%)	41	43	84 (8.5%)
(1)～(9)合計	1,597	521	382	570	1,473 (22.6%)	816	351	709	231	2,107 (32.3%)	292	264	556 (8.5%)

表 4-2 シラバスデータ分析②

科目種類	4.協働する力				⑩～⑬計 (割合)	5.総合的な力			⑭～⑯計 (割合)	1～5合計 (割合)
	⑩常識力(一般常識・マナー)	⑪プレゼンテーション能力・表現力	⑫コミュニケーション能力	⑬協調性		⑭課題発見能力	⑮計画力	⑯問題解決能力		
(1)講義科目	104	69	78	55	306 (13.1%)	226	47	185	458 (19.6%)	2,336 (100.0%)
(2)外国語科目	26	27	181	5	239 (21.6%)	5	2	10	17 (1.5%)	1,109 (100.0%)
(3)基礎情報科目	39	39	38	0	116 (33.5%)	0	5	19	24 (6.9%)	346 (100.0%)
(4)実習科目	3	14	17	10	44 (14.8%)	17	6	27	50 (16.8%)	297 (100.0%)
(5)体育科目	20	1	40	35	96 (34.5%)	21	14	25	60 (21.6%)	278 (100.0%)
(6)教職科目	5	14	18	5	42 (19.4%)	24	18	20	62 (28.6%)	217 (100.0%)
(7)1年次演習	28	26	42	50	146 (25.3%)	54	34	12	100 (17.3%)	577 (100.0%)
(8)2年次演習	14	46	30	11	101 (27.7%)	23	9	17	49 (13.5%)	364 (100.0%)
(9)3・4年次演習	24	124	85	30	263 (26.5%)	100	42	65	207 (20.9%)	992 (100.0%)
(1)～(9)合計	263	360	529	201	1,353 (20.8%)	470	177	380	1,027 (15.8%)	6,516 (100.0%)

(3) 授業改善手法データの分析結果 (表 5-1)

2015年度に作成された授業改善計画書のうち分析対象となったものは全部で286科目である。教員がその科目で取り入れた手法について全体的な傾向を見てみると、最も多い割合を示したものが「学生発表」で14.2%、次いで「小テスト、中間テスト・レポート」、「映像資料」、「レジュメ」で11%前後、以下「学生ディスカッション」が10.9%、「グループワーク」が9.8%「OHC・PPT」が8.3%、と続き、最

も低かったものが「クリッカー」で0.1%となった。次に科目種類ごとに授業手法の特徴をみると、講義科目で最も多いものは「レジュメ」で18.7%、続いて「映像資料」が14.9%、「小テスト、中間テスト・レポート」が13.3%を示し、「学生発表」、「グループワーク」、「学生ディスカッション」など学生の活動度の高い手法は4%前後にとどまった。また外国語科目では「小テスト、中間テスト・レポート」が20.2%、基礎情報科目では「小テスト、中間テスト・レポート」、「技能・実技テスト」がそれぞれ24.0%、実習科目と1年次演習、2年次演習、3・4年次演習では「学生発表」がそれぞれ15.8%、21.6%、23.8%、24.4%と最も高くなっている。教職科目も「学生発表」が最も高い割合で14.8%を示しているが、同水準で「レジュメ」、「リアクションアンケート」、「映像資料」、「ICT」、「学生ディスカッション」も取り入れられている。体育科目は「グループワーク」と「学生ディスカッション」がそれぞれ21.4%、14.3%と高い割合を示した。

表5 授業改善手法データの集計結果

科目種類	(1)講義科目 (割合)	(2)外国語科目 (割合)	(3)基礎情報科目 (割合)	(4)実習科目 (割合)	(5)体育科目 (割合)	(6)教職科目 (割合)	(7)1年次演習 (割合)	(8)2年次演習 (割合)	(9)3-4年次演習 (割合)	合計 (割合)	
科目数	107 (-)	47 (-)	8 (-)	22 (-)	8 (-)	5 (-)	21 (-)	21 (-)	47 (-)	286 (-)	
授業に取り 入れられて いる手法 (複数回答)	1.レジュメを毎回配布している	69 (18.7%)	11 (6.0%)	0 (0.0%)	9 (11.8%)	2 (7.1%)	3 (11.1%)	11 (12.5%)	5 (6.3%)	9 (5.0%)	119 (11.3%)
	2.リアクションアンケートを実施している	35 (9.5%)	9 (4.9%)	0 (0.0%)	4 (5.3%)	1 (3.6%)	3 (11.1%)	4 (4.5%)	3 (3.8%)	6 (3.3%)	65 (6.2%)
	3.リアクションアンケートの内容についてフィードバックしている	28 (7.6%)	6 (3.3%)	0 (0.0%)	3 (3.9%)	1 (3.6%)	1 (3.7%)	2 (2.3%)	3 (3.8%)	3 (1.7%)	47 (4.5%)
	4.授業に映像資料を用いている	55 (14.9%)	23 (12.6%)	1 (4.0%)	8 (10.5%)	3 (10.7%)	3 (11.1%)	4 (4.5%)	7 (8.8%)	16 (8.9%)	120 (11.4%)
	5.授業にOHCやPPTを用いている	47 (12.7%)	6 (3.3%)	2 (8.0%)	8 (10.5%)	2 (7.1%)	1 (3.7%)	3 (3.4%)	6 (7.5%)	13 (7.2%)	88 (8.3%)
	6.クリッカーを導入している	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
	7.普段の授業運営にICTを活用している	8 (2.2%)	6 (3.3%)	4 (16.0%)	7 (9.2%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	3 (3.4%)	2 (2.5%)	9 (5.0%)	42 (4.0%)
	8.学生による発表を採り入れている	18 (4.9%)	27 (14.8%)	4 (16.0%)	12 (15.8%)	3 (10.7%)	4 (14.8%)	19 (21.6%)	19 (23.8%)	44 (24.4%)	150 (14.2%)
	9.グループワークを採り入れている	17 (4.6%)	24 (13.1%)	0 (0.0%)	7 (9.2%)	6 (21.4%)	2 (7.4%)	11 (12.5%)	10 (12.5%)	26 (14.4%)	103 (9.8%)
	10.学生同士のディスカッションを採り入れている	15 (4.1%)	16 (8.7%)	0 (0.0%)	9 (11.8%)	4 (14.3%)	4 (14.8%)	15 (17.0%)	13 (16.3%)	39 (21.7%)	115 (10.9%)
	11.小テスト、中間テストや中間レポートを採り入れている	49 (13.3%)	37 (20.2%)	6 (24.0%)	3 (3.9%)	1 (3.6%)	2 (7.4%)	11 (12.5%)	5 (6.3%)	7 (3.9%)	121 (11.5%)
	12.単元(科目)毎にレポートを採り入れている	7 (1.9%)	6 (3.3%)	2 (8.0%)	2 (2.6%)	2 (7.1%)	1 (3.7%)	3 (3.4%)	4 (5.0%)	5 (2.8%)	32 (3.0%)
	13.実技・技能テストを採り入れている	4 (1.1%)	11 (6.0%)	6 (24.0%)	3 (3.9%)	3 (10.7%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (1.3%)	1 (0.6%)	30 (2.8%)
	14.その他(自由記述)	16 (4.3%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	2 (2.5%)	2 (1.1%)	23 (2.2%)
1~14 合計	369 (100.0%)	183 (100.0%)	25 (100.0%)	76 (100.0%)	28 (100.0%)	27 (100.0%)	88 (100.0%)	80 (100.0%)	180 (100.0%)	1,056 (100.0%)	

(4) 相関分析

①シラバスにおける基礎力と授業アンケートにおける基礎力との相関(表6-1, -2, -3)

教員がシラバスにおいて「その授業で育成することを意図した基礎力(能力要素)」と学生が授業アンケートにおいて「実際に身についたと感じる基礎力(能力分野)」との相関について分析をおこなった。全科目の傾向としては「行動に移す力」と「行動力・実行力」の相関係数が.30、「協働する力」と「コミュニケーション能力」、「協調性」がそれぞれ.31, .35と弱い相関がみられるにとどまった。科目ごとの傾向についてみてみると、講義科目は「協働する力」と「プレゼンテーション能力」、「協調性」、「コ

コミュニケーション能力」の相関係数がそれぞれ.46, .50, .55と概ね弱い相関がみられた。「考える力」については相関がみられなかった。外国語科目では「行動に移す力」と「行動力・実行力」の相関係数が.35と弱い相関がみられるにとどまり、「基礎的な力」については相関がみられなかった。情報基礎科目では、いずれもほぼ相関がみられなかった。実習科目については「協働する力」と「協調性」の相関係数が.36と弱い相関がみられた。体育科目では、「行動に移す力」が「主体性」と.39, 「協働する力」と「コミュニケーション能力」が.33とそれぞれ弱い相関がみられた。教職科目は「協働する力」と「コミュニケーション能力」の相関係数が.36を示す他は、ほぼ相関がみられなかった。1年次の演習科目では「基礎的な力」と「情報収集力」が.37, 「行動に移す力」と「主体性」が.40, 「協働する力」と「コミュニケーション能力」が.45とそれぞれ弱い相関がみられたものの、「考える力」や「総合的な力」にはそれぞれ相関がみられなかった。演習科目は年次が上がるにつれて相関がみられなくなり、3・4年次にはすべての基礎力について相関がみとめられなかった。

②授業手法と授業アンケートにおける基礎力との相関（表7-1, -2）

教員が授業改善計画書において「その科目で取り入れた授業手法」と学生が授業アンケートにおいて「実際に身についたと感じる基礎力（能力分野）」との相関について分析をおこなった。

全科目の傾向としては「グループワーク」が「行動に移す力」と.33, 同様に「学生発表」「グループワーク」, 「学生ディスカッション」が「協働する力」と.42～.47と、それぞれ弱い相関がみられるにとどまった。科目（区分）ごとの傾向についてみてみると、講義科目（授業アンケート種別:講義科目・外国語科目・教職科目）は「学生発表」「グループワーク」「学生ディスカッション」が「協働する力」と.46～.47と弱い相関がみられた。実習科目（授業アンケート種別:基礎情報科目・実習科目・体育科目）は、「グループワーク」が「行動に移す力」と.55の相関がみられ、「ICT」, 「小テスト, 中間テスト・レポート」が「基礎的な力」と.40, .48, 「学生ディスカッション」が「協働する力」と.47とそれぞれ弱い相関がみられた。演習科目は、「グループワーク」と「行動に移す力」が.35と弱い相関がみられるにとどまった。

表 6-1 シラバスにおける基礎力と授業アンケートにおける基礎力との相関①

※小数点第 4 位を四捨五入

全科目 (1578科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)										5. 総合的な力				
	1. 基礎的な力		2. 考える力		3. 行動に移す力		4. 協働する力		5. 総合的な力		問題解決能力	計画力			
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・教養力			コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力
1. 基礎的な力	.23	.22	.15	.05	-.04	-.11	-.04	-.13	.03	.04	.09	-.11	-.01	-.04	-.09
2. 考える力	.03	.05	-.03	.06	.02	.00	.04	-.01	-.05	-.03	.07	.01	-.05	.06	.05
3. 行動に移す力	-.06	.00	-.05	-.13	-.02	-.16	.06	.28	.30	.11	.11	.19	.36	.09	.24
4. 協働する力	-.05	.08	.02	-.14	-.05	-.18	.08	.29	.25	.09	.22	.31	.35	.14	.26
5. 総合的な力	-.05	-.02	.04	.00	.06	-.09	.06	.02	.06	.02	.08	.00	.02	.07	.08

講義科目 (690科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)										5. 総合的な力				
	1. 基礎的な力		2. 考える力		3. 行動に移す力		4. 協働する力		5. 総合的な力		問題解決能力	計画力			
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・教養力			コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力
1. 基礎的な力	.04	.13	.08	.06	.01	.09	-.03	-.02	-.05	.10	-.02	-.04	-.05	.06	.00
2. 考える力	.04	.15	.03	.05	.02	.02	.07	.00	-.03	.07	.07	.05	.01	.01	-.06
3. 行動に移す力	-.07	.21	.03	-.12	.01	-.11	.07	.16	.21	.06	.33	.29	.33	.01	.18
4. 協働する力	-.10	.30	-.01	-.16	-.01	-.21	.11	.37	.25	.12	.46	.55	.50	.01	.23
5. 総合的な力	.01	.09	.15	.05	.09	-.01	.08	.04	.02	-.02	.10	.06	.05	.02	.01

外国語科目 (228科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)										5. 総合的な力				
	1. 基礎的な力		2. 考える力		3. 行動に移す力		4. 協働する力		5. 総合的な力		問題解決能力	計画力			
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・教養力			コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力
1. 基礎的な力	.00	-.11	-.05	-.04	.09	-.06	-.27	.07	.02	.09	.04	-.19	-.03	.00	-.07
2. 考える力	-.13	-.14	-.15	.03	.07	-.06	-.16	-.02	.05	.05	.07	-.23	-.06	.07	.01
3. 行動に移す力	-.07	-.14	-.03	-.08	.02	-.08	.00	.21	.35	.01	-.01	-.08	.42	-.02	.00
4. 協働する力	-.01	-.07	-.02	-.01	.14	.06	.04	.03	.05	.01	.09	-.10	-.11	-.01	-.07
5. 総合的な力	-.08	-.08	-.15	-.01	-.09	-.04	-.05	.10	.06	.03	.11	-.29	-.12	-.06	-.07

基礎情報科目 (77科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)										5. 総合的な力				
	1. 基礎的な力		2. 考える力		3. 行動に移す力		4. 協働する力		5. 総合的な力		問題解決能力	計画力			
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・教養力			コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力
1. 基礎的な力	.03	.03	.04	-.31	-.47	-.23	.04	.00	.00	.04	.00	.00	-.02	-.02	-.37
2. 考える力	-.10	.10	-.30	-.11	-.57	-.09	-.19	-.30	-.28	-.19	-.30	-.28	-.05	-.28	-.05
3. 行動に移す力	-.16	-.16	-.12	-.21	-.11	-.21	.14	.17	.14	.14	.14	.17	-.01	-.01	-.32
4. 協働する力	-.15	-.15	.21	-.28	-.20	-.28	.24	.27	.24	.24	.27	.24	-.14	-.14	-.42
5. 総合的な力	-.17	-.17	.07	-.28	-.23	-.10	.06	.10	.10	.06	.06	.10	-.16	-.16	-.28

※空欄はシラバスに記載されていない項目(分析不可)

表6-2 シラバスにおける基礎力と授業アンケートにおける基礎力との相関②

実習科目 (82科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)																			
	1. 基礎的な力			2. 考える力			3. 行動に移す力			4. 協働する力			5. 総合的な力							
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	情報処理能力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・表意力	コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力	計画力	問題解決能力				
授業アンケート 社会人基礎力	.02	-.05	.03	-.15	-.16	-.01	-.14	.04	-.26	.01	-.26	.09	-.04	-.04	-.08	-.05	-.06	.00	-.17	-.11
1. 基礎的な力	-.02	.03	.08	.02	-.12	.01	-.26	.09	-.26	.01	-.26	.09	-.04	-.04	-.08	-.05	-.06	.00	-.17	-.11
2. 考える力	.13	.25	-.11	-.11	-.12	.00	-.13	.20	-.13	.26	-.13	.20	.09	.26	.06	-.19	-.07	-.02	-.04	.08
3. 行動に移す力	.10	.06	-.35	-.06	-.02	-.32	-.02	.11	.21	-.01	-.03	.25	.17	-.10	-.17	-.10	-.17	-.10	-.16	.08
4. 協働する力	-.12	.04	-.04	-.16	-.24	-.03	-.04	.09	.33	.09	-.11	.17	.36	.05	-.17	-.36	.05	.05	.26	.06
5. 総合的な力	.02	-.05	.03	-.15	-.16	-.01	-.14	.04	-.26	.34	-.12	.16	.00	-.23	-.12	.16	.00	.23	.20	.20

体育科目 (65科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)															
	1. 基礎的な力			2. 考える力			3. 行動に移す力			4. 協働する力			5. 総合的な力			
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	情報処理能力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・表意力	コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力	計画力	問題解決能力
授業アンケート 社会人基礎力	.22	.13	-.14	.37	.46	.12	.12	-.01	-.12	-.20	-.04	-.33	-.10	-.07	-.00	-.04
1. 基礎的な力	.22	.13	.59	.37	.46	.12	.12	-.01	-.12	-.20	-.04	-.33	-.10	-.07	-.00	-.04
2. 考える力	.13	.45	-.14	-.19	-.16	.08	-.22	.39	-.05	.03	.06	.06	-.06	.19	.13	.14
3. 行動に移す力	-.14	-.23	-.18	-.22	-.23	.04	-.21	.41	.27	.33	-.02	.10	.23	-.10	-.01	-.12
4. 協働する力	-.18	-.18	-.18	-.22	-.23	.04	-.21	.41	.27	.33	-.02	.10	.23	-.10	-.01	-.12
5. 総合的な力	.18	-.17	-.17	-.02	-.16	.05	-.10	.13	-.24	.00	-.28	-.16	-.11	-.09	-.11	-.03

*空欄はシラバスに記載されていない項目(分新不可)

教職科目 (61科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)															
	1. 基礎的な力			2. 考える力			3. 行動に移す力			4. 協働する力			5. 総合的な力			
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	情報処理能力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・表意力	コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力	計画力	問題解決能力
授業アンケート 社会人基礎力	.18	.05	-.11	.00	-.19	-.23	-.07	.02	-.08	-.16	.05	-.17	.07	.13	-.18	-.01
1. 基礎的な力	.18	.05	-.11	.00	-.19	-.23	-.07	.02	-.08	-.16	.05	-.17	.07	.13	-.18	-.01
2. 考える力	.26	.27	-.15	.02	-.29	-.01	-.16	-.04	.01	-.03	.04	.35	.00	.15	.02	.27
3. 行動に移す力	.15	-.13	-.07	-.06	.02	-.06	-.05	.00	-.03	.22	.21	.16	-.09	-.13	-.06	.20
4. 協働する力	-.11	-.01	-.12	-.28	-.11	-.03	.15	.25	-.10	.08	.19	.36	.11	.08	.33	-.08
5. 総合的な力	-.03	.02	-.04	-.24	.04	-.23	.05	.02	.07	.16	-.01	.30	.12	.10	.15	-.23

1年次演習 (87科目)	シラバスに記載されている社会人基礎力(小分類)															
	1. 基礎的な力			2. 考える力			3. 行動に移す力			4. 協働する力			5. 総合的な力			
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	情報処理能力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常勤力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・表意力	コミュニケーション能力	協調性	課題発見能力	計画力	問題解決能力
授業アンケート 社会人基礎力	.21	-.06	.21	-.07	.19	.14	.19	-.17	.20	.10	.11	-.16	-.24	-.03	-.21	.19
1. 基礎的な力	.21	-.06	.21	-.07	.19	.14	.19	-.17	.20	.10	.11	-.16	-.24	-.03	-.21	.19
2. 考える力	-.06	.21	-.06	.06	.01	-.03	.01	.05	.13	-.15	-.03	.16	-.21	.17	-.06	.01
3. 行動に移す力	-.39	-.34	-.38	.38	.01	-.24	.01	.40	-.10	.16	-.29	.28	.34	.30	.51	.01
4. 協働する力	-.41	-.41	-.08	-.28	-.17	-.30	-.17	.25	-.07	-.38	-.17	.45	-.04	.35	.20	-.17
5. 総合的な力	-.13	-.13	.15	.18	.08	-.20	.08	.09	.02	-.17	-.17	.09	-.10	.15	-.12	.08

表 6-3 シラバスにおける基礎力と授業アンケートにおける基礎力との相関③

2年次演習 (84科目)	シラバスに記述されている社会人基礎力(小分類)										5. 総合的な力					
	1. 基礎的な力			2. 考える力			3. 行動に移す力			4. 協働する力			課題発見能力	計画力	問題解決能力	
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	情報処理能力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常識力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・表力	コミュニケーション能力				協調性
1. 基礎的な力	-0.11	-0.05	-0.26	-0.19	-0.23	-0.07	-0.12	-0.07	-0.09	-0.12	-0.29	.30	-0.12	-0.05	.02	.11
2. 考える力	-0.01	-0.05	-0.37	-0.06	-0.22	.02	-0.03	-0.06	.01	-0.14	.04	.13	.13	-0.20	.21	.16
3. 行動に移す力	-0.02	-0.09	-0.02	-0.13	-0.01	.00	.37	.13	.16	.04	.12	.13	.18	.21	.36	.18
4. 協働する力	-0.07	-0.16	-0.10	-0.13	.08	-0.19	.25	-0.10	.02	.01	.00	.07	.09	.16	.28	.12
5. 総合的な力	-0.15	-0.07	-0.11	.01	-0.05	-0.15	.11	-0.13	-0.10	-0.08	.02	.10	-0.05	-0.06	.06	.27

3,4年次演習 (204科目)	シラバスに記述されている社会人基礎力(小分類)										5. 総合的な力					
	1. 基礎的な力			2. 考える力			3. 行動に移す力			4. 協働する力			課題発見能力	計画力	問題解決能力	
	読解力	文章力	情報収集力	論理的・多面的思考力	情報処理能力	理解力	創造的発想力	主体性	行動力・実行力	常識力(一般常識・マナー)	プレゼンテーション能力・表力	コミュニケーション能力				協調性
1. 基礎的な力	.07	-0.02	.06	.16	.18	.05	-0.10	.02	-.18	-.05	.03	.05	-.14	.10	.08	.01
2. 考える力	.05	.01	-.08	.04	.19	-.01	.02	.02	.07	.03	.00	.10	.03	.10	.14	.14
3. 行動に移す力	-.06	.09	.04	-.05	-.02	-.08	.27	.19	.22	.29	-.03	.00	.24	.13	.22	.21
4. 協働する力	-.07	-.03	-.04	-.02	-.06	-.19	.18	-.09	.27	-.17	.03	.22	.21	.10	.14	.13
5. 総合的な力	-.02	-.05	.02	-.05	.15	-.11	.07	-.06	.08	.12	-.01	.03	.00	.08	.08	-.05

表7-1 授業手法と授業アンケートにおける基礎力との相関① (授業改善計画区分)

全区分(286科目)	授業アンケート QA社会人基礎力				
	1. 基礎的な力	2. 考える力	3. 行動に移す力	4. 協働する力	5. 総合的な力
1.レジュメを毎回配布している	-.09	.04	-.08	-.12	-.10
2.リアクションアンケートを実施している	-.04	-.01	.01	.02	.01
3.リアクションアンケートの内容についてフィードバックしている	-.05	.01	.02	.03	.02
4.授業に映像資料を用いている	-.02	-.09	.03	.02	-.09
5.授業にOHCやPPTを用いている	-.01	.11	.01	-.05	.00
6.クリッカーを導入している	-.06	-.01	-.04	-.05	-.02
7.普段の授業運営にICTを活用している	-.02	.13	.09	.05	.08
8.学生による発表を採り入れている	.11	.14	.28	.47	.15
9.グループワークを採り入れている	.01	-.02	.33	.42	.05
10.学生同士のディスカッションを採り入れている	.02	.16	.25	.47	.17
11.小テスト、中間テストや中間レポートを採り入れている	.18	-.12	-.21	-.21	-.08
12.単元(種目)毎にレポートを採り入れている	.03	.03	.06	.05	.00
13.実技・技能テストを採り入れている	.05	-.05	.13	.11	.05

講義科目(159科目)	授業アンケート QA社会人基礎力				
	1. 基礎的な力	2. 考える力	3. 行動に移す力	4. 協働する力	5. 総合的な力
※授業アンケート種別:講義科目、外国語科目、教職科目					
1.レジュメを毎回配布している	-.21	.04	-.05	-.05	-.03
2.リアクションアンケートを実施している	-.13	.04	.13	.08	.09
3.リアクションアンケートの内容についてフィードバックしている	-.11	.07	.15	.15	.10
4.授業に映像資料を用いている	-.02	.00	.17	.16	-.02
5.授業にOHCやPPTを用いている	-.09	.16	.13	.06	.04
6.クリッカーを導入している	-.09	.00	-.03	-.05	-.02
7.普段の授業運営にICTを活用している	-.01	-.01	.03	.00	.02
8.学生による発表を採り入れている	.19	-.01	.25	.46	.05
9.グループワークを採り入れている	.13	-.02	.15	.47	.00
10.学生同士のディスカッションを採り入れている	.11	.19	.11	.47	.21
11.小テスト、中間テストや中間レポートを採り入れている	.06	-.16	-.09	-.07	-.03
12.単元(種目)毎にレポートを採り入れている	.06	.08	.12	.08	.06
13.実技・技能テストを採り入れている	.12	-.03	.18	.22	.05

表 7-2 授業手法と授業アンケートにおける基礎力との相関② (授業改善計画区分)

実習科目(38科目)		授業アンケート QA社会人基礎力				
		1. 基礎的な力	2. 考える力	3. 行動に移す力	4. 協働する力	5. 総合的な力
※授業アンケート種別:基礎情報科目、実習科目、体育科目						
1.レジュメを毎回配布している		-.10	.30	-.01	-.02	.14
2.リアクションアンケートを実施している		-.12	-.06	.03	.23	-.03
3.リアクションアンケートの内容についてフィードバックしている		-.15	-.12	.12	.21	-.09
4.授業に映像資料を用いている		.08	-.06	.23	.15	-.09
5.授業にOHCやPPTを用いている		.18	.00	-.10	-.23	-.28
6.クリッカーを導入している						
7.普段の授業運営にICTを活用している		.40	.20	-.25	-.29	.12
8.学生による発表を採り入れている		.09	.29	.05	.24	.23
9.グループワークを採り入れている		-.48	-.36	.55	.43	-.03
10.学生同士のディスカッションを採り入れている		-.40	.01	.15	.47	.06
11.小テスト、中間テストや中間レポートを採り入れている		.48	-.03	-.26	-.30	-.07
12.単元(種目)毎にレポートを採り入れている		.19	.07	-.09	.05	.18
13.実技・技能テストを採り入れている		.34	-.05	-.07	-.03	.02
演習科目(89科目)		授業アンケート QA社会人基礎力				
		1. 基礎的な力	2. 考える力	3. 行動に移す力	4. 協働する力	5. 総合的な力
※授業アンケート種別:1年次演習、2年次演習、3、4年次演習						
1.レジュメを毎回配布している		.01	.03	.11	.05	-.20
2.リアクションアンケートを実施している		.08	-.01	.06	.15	.02
3.リアクションアンケートの内容についてフィードバックしている		.05	.03	.01	.03	.05
4.授業に映像資料を用いている		-.15	-.17	.04	.07	-.11
5.授業にOHCやPPTを用いている		.08	.13	.01	-.01	.12
6.クリッカーを導入している						
7.普段の授業運営にICTを活用している		-.10	.24	.18	.20	.03
8.学生による発表を採り入れている		.06	.16	.11	.13	.15
9.グループワークを採り入れている		.01	.03	.35	.25	.08
10.学生同士のディスカッションを採り入れている		.02	.05	.17	.12	.09
11.小テスト、中間テストや中間レポートを採り入れている		.23	.00	-.08	-.01	.01
12.単元(種目)毎にレポートを採り入れている		-.03	-.08	-.01	-.08	-.21
13.実技・技能テストを採り入れている		-.03	-.11	.19	.18	-.06

(5) 考察

授業アンケートデータの分析結果より、「学生が身についたと感じる基礎力」は5つの能力分野のうち「基礎的な力」と「考える力」の2つに多くみられることがわかった。他の3つの能力も重要な基礎力であることを考えれば、いずれもバランスよく学生に修得させる必要がある一方で、シラバスデータの分析結果より、担当科目において多くの教員が「基礎的な力」と「考える力」の育成を意図して授業に臨んでいることを考えれば、この結果は当然のことともいえる。しかし、実際には教員が意図した「基礎的な力」、「考える力」と学生が身についたと感じる「基礎的な力」、「考える力」との間には相関がみられなかった。

推察される理由としては3点挙げられる。第1に、本研究において「教員が意図する基礎力」とはあくまでシラバス上のものであり、教員がその育成を主たる教育目標として授業実践に十分に反映させていない可能性があることである。第2に授業アンケート項目の基礎力が5つの能力分野として学生に示されている一方で、教員が意図する基礎力のシラバスへの記載は「能力分野」と「能力要素」が混在しており、同じ名称の基礎力でも学生側と教員側で異なる解釈をするなど齟齬が生じている可能性がある。これは基礎情報科目で「基礎的な力」の要素である「情報収集力」や「考える力」の要素である「情報処理能力」に相関が全くみられなかったことから推察されよう。第3に、教員が意図する基礎力をその意図通りに授業に反映させる方法・知見・実践が充分でない可能性が挙げられる。結果として学生が身についたと感じたとしても、それが意図を反映した授業実践によるものでなければ継続的な再現性は低く、他の基礎力、特に今回の調査結果によれば、修得感の低い「行動に移す力」、「協働する力」、「総合的な力」の育成強化は困難なものとなるであろう。特に、圧倒的に多くの科目数を抱えている講義科目において、これらの基礎力の修得感が低位であることは、大きな問題といえよう。そもそも、講義科目において、教員は授業計画の段階で「行動する力」や「協働する力」の育成をそれほど多く意図しておらず、最初からこれらの基礎力を講義科目で育成することが困難であると思込んでいる可能性がある。実際、授業改善手法データの分析結果をみれば、例えば「協働する力」の育成に影響があると考えられる「学生発表」、「グループワーク」、「学生ディスカッション」といった手法が、現状では講義科目においてあまり取り入れられていないことが明らかになった。しかし、それほどまだ多くはないとはいえ、講義科目において教員がその育成を意図した「プレゼンテーション能力」、「コミュニケーション能力」、「協調性」と学生が身についたと感じる「協働する力」には相関がみられる。さらに、講義科目における「学生発表」、「グループワーク」、「学生ディスカッション」といったアクティブラーニングに見られる授業手法はいずれも「協働する力」と弱いながらも相関がみられることから、「協働する力」のみならず「行動する力」といった基礎力の育成が講義科目では困難であるという考えは必ずしも正しいものではないといつてよいであろう。

「総合的な力」については、この基礎力が「問題発見能力」、「計画力」、「問題解決能力」といった能力要素からなることを考えれば、科目の性質上、実習科目・教職科目・演習科目などの科目との関連性がみられるはずである。実際、「総合的な力」において学生の修得感が高いものは実習科目と教職科目の2つであり、教員が意図する基礎力についても特に教職科目が高くなっている。しかし、両科目とも「総合的な力」に相関がみられず、これは演習科目も同様であった。その理由は「基礎的な力」、「考える力」に相関がみられなかったことと同じ理由であろうと推察される。なお、「総合的な力」はどの科目においても授業手法との相関がみられなかったが、これは手法の選択肢に「問題発見能力」、「計画力」、「問題解決能力」といった基礎力の育成と関連性のあるもの、例えばPBL (Problem Based Learning) に見られるような手法がなかったからと考えられる。

なお、個別の授業手法をみてみると、「リアクションアンケート及びそのフィードバック」、「映像資料」、「OHC・PPT」、「クリッカー」についてはいずれの基礎力とも相関がみとめられなかった。たとえば「クリッカー」などは、「考える力」との相関の可能性が想定されるが、実際にはみられなかった。ただし、だからといってクリッカーの導入そのものが基礎力の修得とは関係がないとは言い切れないであろう。ある程度の基礎力の修得を見込む場合には特定の手法を同一授業内で、もしくは全15回の授業を通して頻繁に実施する必要があるが、現在の授業改善計画の項目では、単にクリッカー使用の有無を聞いているだけで、その頻度まで織り込んでいるわけではないからである。

IV まとめと実務的インプリケーション

本稿では、授業評価アンケートにおいて学生が自ら身についたと感じられる駿大社会人基礎力と教員の意図した基礎力との関係について、さらには授業手法との関係について分析を行った。その結果、いくつかの実務上の課題が浮き彫りとなった。

まず、5つの能力分野のうち多くの学生が身についたと感じている能力は「基礎的な力」と「考える力」の2つに偏っていることである。教員の多くもこの2つの能力の育成意図をもっているものの、基礎力が「基本的な力」から「総合的な力」に至るまで段階的に修得されていくべきものであることを考えれば、現状は「基礎的な力」と「考える力」の育成にとどまっておき基礎力が十分に積みあがっているとはいえない状態である。

次に、教員がその育成を意図した基礎力を、必ずしも学生が身につけていると感じているわけではないということである。その理由として、育成基礎力におけるシラバス記載の形骸化・教員における教育力（授業設計・手法・技術）の不十分さなどが考えられる。

さらに、基礎力データ項目の齟齬である。教員・学生の基礎力への理解が十分でない上に同じ名称の基礎力でも学生側と教員側で異なる解釈をしている可能性がある。

以上をふまえ、実務的インプリケーションを下記の通り提示する。

第1に、段階的な基礎力の育成を視野に入れたカリキュラム編成（カリキュラムマップの作成）を行う必要がある。教育のコンテンツもさることながら、基礎力の積み上げには、インターンシップやPBLをはじめとするアクティブラーニングなど学生の活動度が高い形式の科目を、年次が上がるにつれて意図的に配置することが重要となる。

第2に、教員の教育力を向上させるための組織的支援が必要である。現在でもFD活動等を通して一部、組織的な支援が行われているものの、基本的には教員個人への依存度が高い状態にある。従って具体的に組織的支援を行うためには、まず教員個人における教育上の課題を把握する必要があり、そのためには本学の教員が持つべき「教育能力・要素」を明確化する必要がある。具体的には教育設計能力（インストラクショナルデザイン；最適な学習効果のための教育設計）と授業での展開能力（授業技術）の2つに大別される。これらを反映させたルーブリックを開発し、個人の足らざる能力について組織的支援を行っていくのである。具体的には、個人の優れた授業手法を組織的にライブラリー化し、教員が意図する基礎力の育成に効果的な授業手法の可視化を図る。これは単に、授業手法の概念・方法を紹介するだけでなく、すぐに授業で活用できるワークシート等の教育ツールを必要に応じて取り出せるようなライブラリーでない形骸化する可能性が高いであろう。さらには、教員がライブラリーを利用したいと考えても、どれを選択してよいか判断がつかない場合も想定されるので、教育のことであれば全般にわたって相談に応じるアドバイザー的な存在、さらには授業設計の支援も行うような「教育力支援者」

の育成と配置が必要となってくる。いずれにせよルーブリックの開発・ライブラリー化・教育力支援者の育成配置にはこれらを推進する主体・部門が必要となるであろう。

第3に「基礎力の把握と育成」をPDCAサイクルでマネジメントし、学生の成長につなげることである。現在、基礎力の経年把握を行うにとどまっているので、把握した学生個人の基礎力データを経年で可視化するようなシートを開発・運用することによって、FAの効果的な指導資料として活用することも可能である。

第4に現行の「基礎力育成における運用のあり方」と「基礎力そのもの」の見直しである。上述の通り、現在は基礎力に対するアンケート・シラバス項目や教員・学生の解釈に齟齬が生じており、さらに基礎力の能力要素の重複、ベンチマークとして使用しづらい等の問題が発生している。駿大社会人基礎力の開発から6年経過しており、これらの課題をふまえて改訂していく必要がある。

以上のような課題を克服していくことで、本学における「教授・学習の質向上」と「学修成果の可視化」がさらに進展していくことが期待されるものである。

<参考文献>

- 1) 藤井文武, 平尾元彦 (2011) 社会人基礎力を高める授業の実践-産学連携PBL授業「アクティブラーニング」の取組, 大学教育, 7 : 23-34
- 2) 経済産業省 (2010) 社会人基礎力育成の手引き
- 3) 中川忠宣 (2015) インターンシップ授業の展開と社会人基礎力の育成への効果 日本生活体験学習学会誌, 15 : 19-28
- 4) 清水和秋, 三保紀裕 (2013) 大学での学び・正課外活動と「社会人基礎力」との関連性, 関西大学社会学部紀要, 44 (2) : 53-73